

■ 清須市地域公共交通戦略の改訂に向けた考え方（素案）

1 運行目的

現行の運行目的を基本的に踏襲。

- ① 市役所各庁舎や各種公共施設を利用するための交通手段の確保
- ② 高齢者や主婦層などの日中における市内移動の利便性を高める
- ③ 市としての一体感を醸成
- ④ 公共交通不便地域の解消

2 運行計画

運行系統 [変更]	3路線。基幹型路線、支線型路線の導入。
運行日数	毎日運行。ただし、年末年始（12月29日～1月3日）は運休
運行時間帯	朝8時台から夕方6時台まで
利用料金	1乗車100円（未就学児は無料）。ただし、乗り継ぎの場合は、乗り継ぎ券を発行（当日のみ有効）する。
運行形態	市が事業主体となり、民間事業者を運行主体とした運行
自主財源の確保	有料広告を掲載（バスのりば標識、時刻表・全体ルート図）

3 基幹型路線、支線型路線の導入

〔課題〕

- ① 経路が冗長で、乗車時間が長い
- ② 運行便数が少ない
- ③ 清須市立図書館への交通利便性の確保（平成24年7月7日開館予定）

〔方向性〕

- ① 西枇杷島、新川、清洲地区の主要拠点と図書館を結ぶ基幹型路線の新設
- ② 市内を大きく2地区程度に区分し、地区内の各拠点を結ぶ支線型路線の新設
- ③ 基幹型路線と支線型路線の接続性を考慮
- ④ 基幹型路線は、輸送力の増強を図るため新車両を導入

○導入車両の候補

日野ポンチョ

- 乗車定員33人程度  
（座席18人、立席14人、乗務員）
- ユニバーサルデザイン
- 車椅子対応、低床

